

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 当院における喘息増悪の入院治療経過に関連する因子の検討

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 近藤 康博

[研究の背景] 喘息の治療においては近年、2007年のICS/LABA合剤(アドエア®)発売以後、LAMAの保険適応追加、トリプル吸入製剤や抗体製剤の登場など大きな進歩を遂げてきました。これら治療の普及の影響もあってか、当院における喘息入院患者数さんの推移をみますと増悪入院の絶対数は近年減少傾向であります。しかし、昨今においても一定の患者さんが増悪入院をされており、大発作も2~3割に見られます。現在において入院治療を要する喘息患者さんはどのような背景を持ち、また、それら背景因子が入院後の治療経過に関連するかは定かではありません。

[研究の目的] 入院を要した喘息増悪患者さんについての背景因子を検討し、また、それら因子が入院中の経過を予測しうるかを明らかにするため入院経過との関連について検討することといたしました。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

気管支喘息の患者さんで、西暦2019年1月1日から西暦2023年1月31日の間に気管支喘息増悪の入院治療を受けた方

●研究期間： 実施許可から 2023年 10月 22日まで

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、呼吸機能検査、他）、入院期間、治療内容。

●利用する検体、カルテ情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表

されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 近藤 康博

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139